



# すべての子ども達が 生き生きと暮らせる社会の実現のために

～妊娠、出産、育児にわたる母子への包括的な支援における小児科医の役割～

倫理委員会では、主に母体血を用いた非侵襲性出生前遺伝学的検査(NIPT)を取り上げ、母子への包括的支援における小児科医の役割について考える場といたし、今回のフォーラムを企画いたしました。

出生前検査も着床前検査も、新しい局面に向かおうとしています。障害や疾患の有無にかかわらず、子どもたちが等しくかけがえない個人として尊重され、そして誰もが安心して子どもを産み、育てることができる社会の実現のために、いま何が求められているのか、小児科医が果たすべき責務とは何か、多領域の専門家にお話いただき、共に討議しながら、考えを深める機会としたいと存じます。多くの皆様方のご参加をお待ちしております。

**開催日時** 2025年3月22日(土) 13時～16時

**開催形式** オンライン配信形式(事前申し込み制) **定員** 1,000名 **参加費** 無料

**対象** 日本小児科学会会員、関連学会会員、医療関係者、報道関係者、一般の方々

**申込方法** 学会HPまたは右記のQRコードからお申込みください。

「学会HPトップ」→「各種活動」→「各種研修会・講習会など」→「倫理委員会公開フォーラム」

**申込締切**：2025年2月28日(金)

(申込締切前に関わらず、定員に達した場合は申込を締め切らせていただく場合がございます)



## プログラム (プログラムは予告なく変更となることがありますことをご了承ください)

13:00～13:05	開会の挨拶 滝田 順子(日本小児科学会会長)
13:05～13:10	フォーラム開催趣旨の説明 笹月 桃子(日本小児科学会倫理委員会委員長)
13:10～14:50	第1部 着床前検査・出生前検査の現状～出生前からの切れ目ない支援に向けて 座長：笹月 桃子(倫理委員会委員長)、種市 尋宙(倫理委員会副委員長) 「NIPT及びPGT-Mの現状について」 三浦 清徳(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 産婦人科学分野) 「出生前検査の現状～NIPT等の出生前検査に関する専門委員会について」 植田 紀美子(関西大学 人間健康学部) 「NIPTの検査精度について臨床検査の視点から考える」 松下 一之(千葉大学医学部附属病院 検査部・遺伝子診療部) 「出生前コンサルト小児科医について」 右田 王介(聖マリアンナ医科大学病院 遺伝診療部) 「夫婦が安心して出産を迎えられるために」 西川 智子(神奈川県立こども医療センター 遺伝科 認定遺伝カウンセラー) 「出生前検査に対する日本小児科学会の立場」 笹月 桃子(早稲田大学 人間科学学術院)
14:50～15:05	休憩
15:05～15:55	第2部 総合討論・質疑応答 座長：笹月 桃子(倫理委員会委員長)、掛江 直子(倫理委員会副委員長) 指定発言：富永 牧子(昭和大学横浜市北部病院 臨床遺伝・ゲノム医療センター)
15:55～16:00	閉会の挨拶 三井 哲夫(日本小児科学会倫理委員会担当理事)

